

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 42号

2013/04/01 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き：上値は重たいが、全体的に上昇傾向が強い1週間。

①週最高：LDN市場£1,477 / NY市場\$2,170（共に3月28日）先週比 **LDN+£9/NY+\$4**  
②週最低：LDN市場£1,448 / NY市場\$2,129（共に3月25日）先週比 **LDN+34/NY+41**  
週内差額（①-②）：LDN市場£29 / NY市場\$41

【3月25日（月）】両市場とも続落。

ロンドン市場の7月きりは、22日の終値1460ポンドから、12ポンド（0.8%）安の**1448ポンド**に下落

ニューヨーク市場の5月きりも22日の2159ドルから30ドル（1.38%）安で大幅に下落し、**2129ドル**で終了した。

取引開始直後は、価格上昇するも、産地筋の売りヘッジや投機筋の売りヘッジの売り圧力が多く2日連続の下落となった。

【3月26日（火）】両市場とも堅調

ロンドン、ニューヨーク両市場とも堅調だった。

ロンドン市場7月きりは12ポンド（0.8%）高の1460ポンドで終了。ニューヨーク市場5月きりは16ドル（0.8%）高の2146ドルで引けた。輸出業者の推計によると、最大生産国コートジボワールのカカオ豆着荷量は昨年10月から今年3月24日までの累計で約101万2000トンに達した。前年同期（103万2000トン）を若干下回っている。

【3月27日（水）】両市場とも小幅続伸

両市場とも小幅続伸した。

ニューヨーク市場の5月きりは4ドル（0.2%）高の2150ドルで終了、テクニカル要因が市場をけん引した。

ロンドン市場の7月きりは3ポンド（0.2%）高の1463ポンドで引けた。市場は引き続き、コートジボワールのミッドクロップの見通しを注視している。

【3月28日（木）】ニューヨーク、ロンドンとも続伸

ココア先物は、ニューヨーク市場、ロンドン市場とも続伸。

ロンドン市場の7月きりは、14ポンド（1.0%）高の**1477ポンド**で終了。3月は3.4%上昇と、過去4カ月で初めて月足陽線となった。第1四半期では2.4%上昇。

トレーダーらによると、西アフリカにおけるミッドクロップの見通しは、おおむね好天を受け、引き続き期待できるという。ニューヨーク市場の5月きりは、20ドル（0.9%）高の**2170ドル**で引けた。3月は1.1%上昇だったが、第1四半期では3%下落と2カ月連続の月足陰線だった。

【3月29日（金）】休場

イースター休暇の為休場

## 2、世界ココア価格、20年までに2倍超に上昇か=シンガポール・ペトラフーズ(3/27)

シンガポールに拠点を置くココアパウダーなどの生産会社ペトラ・フーズの幹部は26日、当地で開催された業界会議で世界のココア価格について、生産が需要に追い付かなければ、2020年までに現在の2倍以上に相当する36年ぶり高水準に上昇する可能性があるとして述べた。

国際ココア機関（ICCO）の見通しによると、今シーズン（12年10月～13年9月）の世界のココア需給は4万5000トンの供給不足。同幹部は世界のココア生産量について、価格急騰を回避するためには20年までに少なくとも400万トン（現在比100万トン増）に達する必要があると指摘した。

ベンチマークするべき、ニューヨーク市場での現在の価格は2100ドル前後で32年ぶりの高値となった2011年初頭の3800ドルと、これまでの記録の中での最高価格であった1977年の5300ドルである。

カカオの価格は、1年以上前から積み上がった現在のココアバターの在庫が消化し終わった後にはチョコレートメーカーが一気に買付けを再開して価格が一気に上昇するかもしれない。

同幹部によれば、世界的なカカオの需要は経済発展と関連しており、アジアの消費者は今後よりココアパウダーの使用比率の高いチョコレート製品を好む傾向に変化すると見込まれていると説明した。

一方で、カカオ産業全体はこの5年間で12億ドルをカカオの持続的な生産の為にプロジェクトの為に使用してきたが結果は満足のものとはほど遠いと同幹部は指摘する。

しかし、この業界会議ではインドネシア政府が行ってきた2020年までに同国のカカオ生産量を100万トンに増加させる取り組みが、数多くの新しく植えられた苗木が死んでしまったことで現在停滞しているにも関わらず、それでも尚インドネシアがこの将来の需給ギャップを埋めることが出来るとしている。

インドネシアの2013年の収穫数量は教育されたカカオ農家の管理向上により、昨年に比べて11%上昇の50万トンと予測されているがインドネシアカカオ協会によれば、現在の所、雨の多い気候が収穫を遅らせている状況だ。

カーギルや、バリーカレボ一等の多国籍企業等は既にインドネシアでカカオ磨砕工場の建設プロジェクトを開始している。来年の世界的な供給数量の予測については、ペトラフーズの幹部は予測が非常に難しく、不足が生じるか否かはコートジのミッドクロップの状況を5月以降に正確に把握する必要がある

だろうと述べた。

### **3、12～13年度のガーナ・カカオ豆買い付け量、前年度比16%減＝14日時点(3/28)**

27日に閲覧したガーナのカカオ豆監督機関、ココア委員会（C o c o b o d）の統計によると、2012～13年度（12年10月～13年9月）の同国カカオ豆買い付け量は3月14日時点で計59万8859トンと、前年度同期を16.2%下回った。乾燥や強風などの天候が影響した。同国は12～13年度のカカオ豆収穫高を前年度比5%減の80万トン前後と見込んでいる。

### **4、コートジ、ミッドクロップのカカオ豆政府保証価格700CFAフランに設定(3/30)**

コートジボワールのコーヒー・ココア評議会（CCC）は29日、ミッドクロップ期（4～9月）収穫のカカオ豆の政府保証付き農場出荷価格が1キロ当たり700CFAフラン（1.37ドル）に設定されたことを明らかにした。メインクロップ期（10～3月）の同価格は725CFAフランだった。

### **5、コートジ、4-9月のミッドクロップのカカオ豆のサイズ基準を決定(3/30)**

コートジのコーヒー・ココア評議会は、4月-9月までのミッドクロップ期のカカオ豆のサイズを100g単位の豆カウント換算で **120粒/100g以下**と設定した。

### **6、コートジ、4-9月のミッドクロップのカカオ豆のCIF価格を決定(3/30)**

コートジのコーヒー・ココア評議会は、4月-9月までのミッドクロップ期のカカオ豆の輸出価格CIF（商品代金+海上保険費用+荷渡し港までの船賃込みの価格）を1キロ当たり **1157 CFAフラン（2.26ドル）**と固定した。

関連参考)

### **12年度の砂糖消費見通し、前年度実績比2.4%増の205万3000トン農水省(3/25)**

農林水産省は25日、2012砂糖年度（12年10月～13年9月）の需給見通しを発表した。それによると、年間消費量は前年度実績比2.4%増の205万3000トンで、内訳は、上白糖などの分みつ糖が同2.4%増の202万トン、黒蜜などの含みつ糖が同3.1%増の3万3000トン。「家庭向けの消費が低調」（農産部）なため、前回12月時点から予想を1万1000トン引き下げた。年間供給量は、同1.4%減の202万4000トン。さとうきびの収穫面積増加を受け、国産糖が同1.6%増の68万5000トンとなる一方、輸入糖は同2.9%減の133万9000トンの見通し。トウモロコシなどを原料とする異性化糖は消費、供給とも、前年度実績比1.0%減の80万4000トンと見込んだ。

**\*特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております！！こちらも何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。**

\*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp